

No	困りごと (事象)		原因 (分析)	どうやったらクリアできるか (仮説)	具体的な取り組み			評価 予定時期
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって	
子1501	18歳になると、放デイが使えなくなり、生活介護就Bなどが終わった後のサービスがなく、親がフルタイムで働けない。	親 (家族) 支援者	・生活介護等の営業時間が短い (15時頃に終わる) ・大人対象のタイムケア事業がない	・大人対象のタイムケアを創設 ・生活介護等の利用時間延長とそれに伴う必要な職員配置基準の見直し	くらし部会	2015年度	具体的に検討し直す	クリア (終了)
子1502	進学やサービス利用の際に同じ内容の成育歴をそのたびに話さなければならない。	親 (家族) 支援者	・年齢ごとに関わる機関が変わり、一貫して支援できる仕組みがない ・情報が一元化されていない	・相談支援ファイルを作成する ・分野を越えた関係機関のネットワークを構築する	子ども部会	2015年度	相談支援ファイルかしわらっこ作成	クリア (終了)
子1503	障害児が思い切り遊べる場所がない。	本人	・市内に広い公園がない ・園庭のある療育施設がない	・廃園、廃校になった幼稚園や小学校、企業の運動場や体育館を借りる	子ども部会	2015年度	教育委員会への打診	クリア (終了)
子1504		親 (家族)			障害福祉課教育委員会	2015年度	行政間での調整	クリア (終了)
子1505	各種検診で該当する児が出て、その後療育を十分に受ける体制が整っていない。	親 (家族)	・子どもの障がいを受容できない ・親が理解しても親族を受容できない	・乳幼児健診受診の積極的受診 ・相談機関の利用	子ども部会	2015年度	資源マップの作成	クリア (終了)
子1506		支援者	・親の障がい受容に見極めが困難 ・各担当部署だけでは、年齢による経過を追えない	・中核的な療育を担う場所の創設	障害福祉課	2017年度	行政計画へ反映	2017年度末
子1507	通院、通学の送迎がなくて困っている。	本人	・送迎バスに看護師が乗っていない為医療的な行為ができない	・医療職がバスに添乗できるようになる	障害福祉課教育委員会	2016年度	協議の場を持つ	2016年度末
子1508		支援者	・親が車を運転できるなど毎日通学に対応できなければならない ・移動支援で通園・通学が認められていない (この判断に地域差がある)	・公的サービスが充実する ・移動支援の利用枠を拡大する	障害福祉課	2017年度	支給範囲等の見直し	2017年度末
子1509	医ケア児の利用できるサービスが少ない。	親 (家族)	・医ケア児が使えるサービスが少ない ・看護師の配置義務がない事業が多い	・必要なサービスに関する情報を適切に知ることができる ・制度上の人員配置を見直す	子ども部会	2015年度	資源マップの作成	『1601』に続
子1510		支援者			障害福祉課	2017年度	行政計画に反映	
子1601	医療ケア (吸引・気管切開・胃ろう等) の必要な子どもが利用できる保育所がない。	親 (家族)	・保育所に医療ケアの整備が整っていない	・保育所の整備が進む	子ども部会	2017年度	協議の場を設ける	2017年度末
子1602	発達に偏りのある子どもが使えるサービスの一覧表がほしい。	支援者 親 (家族)	・柏原市内で利用できる公的サービス・医療機関・事業所・教室などの一覧表がない	・サービス一覧表を作成する	子ども部会	2018年度末	部会で検討	2018年度末
子1603	療育機関 (心理・OT・PT・ST等) がすぐに利用できない。	相談機関 親 (家族)	・療育機関の数が限られている ・療育機関の定員がいっぱいである	・療育機関の数を増やす ・療育機関の定員を増やす	子ども部会	2017年度	社会資源の創設に努めるよう、呼びかける	2017年度末

No	困りごと（事象）		原因（分析）	どうやったらクリアできるか（仮説）	具体的な取り組み			評価 予定時期
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって	
子 1604	相談や療育機関を利用した子どもの状況や検査結果を柏原市全体として把握しにくい。	保健センター 子ども未来部 教育委員会 療育機関	・情報を共有するシステムがない	・市として情報を共有するシステムを構築する（個人情報の関係で難しいか？）	子ども部会	2018年度	相談支援ファイル『かしわらっこ』の運用を推進する	2018年度末
子 1605	発達に偏りのある子どもを持つ保護者が不安や悩みを抱えている。	親（家族）	・保護者同士が交流できる場が足りていない ・相談窓口は複数あるが、必要な人に情報が届いていない	・就学前相談会の実施 ・相談窓口を広く知ってもらう機会を設ける	子ども部会	2017年度	子ども部会主催で実施する	2017年度末
子 1606	発達に偏りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。	支援者 親（家族）	・子どもとの接し方を学ぶ機会が足りていない	・研修会・勉強会の実施	子ども部会	2018年10月 （年1回ほど）	子ども部会で検討	2018年度末
子 1607	発達に偏りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。	支援者 親（家族）	・子どもとの接し方を学ぶ機会が足りていない	・研修会・勉強会の実施	子ども部会	2018年10月 （年1回ほど）	講演会を実施	2018年度末
子 1608	発達に偏りのある子どもが集まって楽しめる機会が少ない。	親（家族）	・発達に偏りのある子どもを対象にしたイベントが少ない	・イベントの開催	子ども部会	未定	講演会を開催	2018年度末
子 1609	地域への障害理解を広げていきたい。	支援者	・地域への障害理解を広める効果が期待されるから	・地域向けの講演会を実施	子ども部会	未定	講演会の開催	2018年度末
子 1610	地域の課題を抽出・共有する機会が少ない。	親（家族） 支援者	・地域の課題を聞き取る場がない	・地域の課題を聞き取る場を設ける	子ども部会	2017年度末	『つぶやきシート』の導入	2017年度末
子 1701	医療的ケア児の課題について協議する場がない	親（家族） 支援者	・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場がない	・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場を設ける	障害福祉課	2018年度	子ども部会を『医療的ケア児の協議の場』と位置付け、課題について検討	2018年度末
子 1702	就学に向けて、相談や情報が得られる場がほしい	親（家族）	・就学に関する情報を聞く機会が少ない	・就学説明会と就学懇談会を実施する	子ども部会 教育委員会	2018年5月 2018年9月	就学説明会、懇談会を実施	2018年度末
子 1702	発達に偏りのある子どもが大きくなったときの様子やサービスを、子どもに携わる支援者が知り	支援者	・子どもに関わる機関や事業所が成人の事業所を見学する機会がない	・大人の事業所の見学会を実施する	事務局	2018年度	定例会等で部会同士が交流する場を設ける	2018年度末
子 1703	進学（中、高、大）に向けて、相談や情報が得られる場がほしい	親（家族）	・就学だけでなく、進学についても不安を覚えるご家族が多いが、情報を得られる機会が少ない	・進学に関する情報を得られる機会を設ける	子ども部会	未定	情報提供を行う機会を設ける	2018年度末